

2023年1月25日

2022年度 明治大学大学院外国人学識者招聘事業報告書

コーディネーター

研究科： 政治経済学研究科

職 格： 専任教授

氏 名： 末永啓一郎

1. 外国人学識者

氏 名： Bui, Thi Minh Tam

所 属 機 関： Srinakharinwirot University

招 聘 期 間：2022年12月9日～2022年12月29日（計21日間）

外国人学識者紹介： Dr. Bui, Thi Minh Tam は、ベトナム出身で、現在は、タイの Srinakharinwirot University で教鞭をとっている。専門は、国際経済学、開発経済学であり、グローバル・バリュー・チェーンや、多国籍企業、海外直接投資などの研究を行っている。また、その他の研究対象として、ジェンダーと経済の関係や、東南アジア諸国の経済史に関する論文も数多く執筆している。なお、彼女の所属する Srinakharinwirot University は、明治大学の提携校で、明治大学 ASEAN センターが設置されている大学でもある。

2. 総括および今後の展望

今回の外国人学識者招聘事業では、グローバル経済、特に ASEAN 諸国を対象としたセミナーを開催した。ASEAN 諸国は、ファクトリー・アジアの一部と言われると共に、日本経済のみならず、世界経済にとっても、非常に不可欠な役割を果たしている国々でもある。また、グローバル・バリュー・チェーン、あるいはリージョナル・バリュー・チェーンが構築されつつある昨今において、アメリカ・ファースト、Covid-19、ウクライナ侵攻が世界のサプライ・チェーンに与えた影響は大きく、こうした状況の中で、今後のビジネスをどのように行っていくかは、多くの人々にとって重要なテーマである。このことは、経済的な側面のみならず、政治的な問題においても、非常に困難な分析と対策を必要とすることは言うまでもない。こうした中、ベトナム出身で、現在、タイの大学に籍を置く第一線の研究者が語る現地の経済・政治分析、およびグローバルな考察は、大学院学生のみならず、参加した多くの教員にとっても、非常に刺激的な内容であった。全ての内容を記すことは紙幅の制限により困難であるが、ここではそのテーマと概要を紹介したい。

【第 1 回目】: Thailand in the Regional Economy: The Development of the Greater Mekong Subregion (GMS)

大メコン圏は、インドシナ半島のみならず、アジアや、そして世界経済にとっても非常に重要な役割を果たしつつある。そうした中で形成されつつあるインドシナ半島のリージョナル・バリュー・チェーンにおいては、タイが中核的な役割を果たしつつある。今後、タイやインドシナ半島が、いかなる生産ネットワークを構築し、世界の中でどのような経済的役割を果たしていくかが議論された。

【第 2 回目】: Multi-national Corporations and the Production Network

グローバル、あるいはリージョナルなバリュー・チェーンが構築される中で、多国籍企業が果たす役割は極めて重要である。本セミナーでは、特にタイや ASEAN 諸国に焦点を当て、日本や欧米、そして韓国や中国といった国々の多国籍企業が、どのような役割を果たしているか、そして今後、どのような役割を果たしうるかについて、院生や教員との間で活発な議論がなされた。

【第 3 回目】: Regional Trade Agreements: ASEAN Case Study

ASEAN 諸国のみならず、世界各地において形成される生産ネットワークでは、地域貿易協定が様々な影響を与えてきた。近年は、フラグメンテーションやアウトソーシングといった用語が注目されているように国際的な分業が進んでおり、国内でフルセット型の生産体制を築くよりも、他国との間で国際分業体制を構築するほうが、より高い経済的成果を得られる状況になりつつある。こうした中、いかにして戦略的に地域貿易協定を締結すべきかが論じられた。

【第 4 回目】: Firms in the Global Economy: Export Decisions, Outsourcing, and Multinational Enterprises

第 4 回目のセミナーでは、実証的な側面のみならず、理論的な分析が行われた。特に、グローバル経済において、多国籍企業が行う選択には、様々な要因が影響を与えうる。本セミナーでは、コストや政治的要因など、具体的な論点が取り上げられながら、理論的な分析が行われた。

【第 5 回目】: Expansions of Global Value Chains in East Asia and ASEAN

最終回のセミナーでは、これまでの議論も総括しながら、東アジアや ASEAN 諸国におけるグローバル・バリュー・チェーンについて、包括的な議論が行われた。そして、これまでの歴史も踏まえた上で、今後の日本経済、あるいはアジア経済が、どのような状況になりうるかが、活発に議論された。

以上のセミナーは、英語で行われたが、講義資料も配布されていたことから、英語で100分の講義を受けるのが初めてといった学生（特に学部生）にも分かりやすく、英語ができる学生は、特に活発な質疑応答を行っていた。こうした機会は、学生にとっても非常に貴重なため、こうした事業が、さらに活発に行われることを期待したい。また、本事業によって可能となった本学教員との対面を通じた研究交流が、本学の研究に大きなプラスの効果を与えることは言うまでもない。

以 上